

平成20年1月

# 桑本 將 学位論文審査要旨

主 査 豊 島 良 太  
副主査 重 政 千 秋  
同 渡 邊 達 生

## 主論文

Effects of sciatic neurectomy on arthritis and bone loss in rats with collagen-induced arthritis

(コラーゲン誘発関節炎ラットの関節炎と骨量減少に対する坐骨神経切除の影響)

(著者：桑本將、岡野徹、深田悟、榎田誠、萩野浩)

平成19年9月 Yonago Acta medica 50巻 57頁～63頁

## 審 査 結 果 の 要 旨

本研究は、神経麻痺が関節リウマチの関節炎と骨粗鬆症に及ぼす影響を検証する目的で、コラーゲン誘発関節炎ラットに坐骨神経麻痺を加え、その関節炎と骨量に及ぼす影響を検討したものである。その結果、坐骨神経切除はコラーゲン誘発関節炎ラットの関節炎を抑制するが、骨量には影響を及ぼさないことが明らかとなった。これらの結果は、麻痺性疾患合併の関節リウマチの診療に有用な情報を提供するものであり、本論文の内容は、関節リウマチの関節炎と骨粗鬆症の診療に大きく寄与するものであり、明らかに学術の水準を高めたものと認められる。